

おんしゃく 議会だより



No. 142

平成18年11月

●発行/千葉県御宿町議会

●編集/議会だより編集委員会

●発行責任者/伊藤 博明



長野県波田総合病院視察
～病院関係者と町議員～

9月議会

定例会

17年度決算など15議案を可決・認定…………… 2P

一般質問

いすみ鉄道など2議員が登壇…………… 6P

視察報告

長野県波田総合病院を研修視察しました…………… 7P

一般会計補正予算減額総額 一、〇二七万円

御宿小学校と布施小学校における耐震調査委託や、税務における電算システムの導入等による増額はあるものの、課の統廃合及び退職等による人件費の減額、さらには広域市町村圏事務組合の負担率の改正等により一、〇二七万円の減額補正となりました。

なお、平成十八年十月から障害者自立支援法による福祉サービスの体系が変わるため、事業費の組み替えと新規事業分を計上しました。

条例の制定・改正

月の沙漠記念館設置

及び管理に関する条例の改正

現行の条例では、入館料等の免除規定のみであり、旅行代理店等の利用者促進を図るため、入館料等の減額規定を加えるものです。

町国民健康保険条例の改正

少子化対策として、現行では国民健康保険加入者の方が出産したときは、出産育児一時金として三〇万円が支給されていますが、今回の改正により、五万円増額され、三五万円支給されます。



学校内の壁数箇所を採取し、耐震強度を調査します
— 御宿小学校 —

審議しました

平成18年9月13日に9月招集第3回定例会が開催され、
15議案を可決・承認しました。



楽しみながら健康になりましょう
— 鶴亀教室 (グランドゴルフ) —

専決処分

一般会計補正予算(第二号)

千葉県の実況で漁業を調整する委員に欠員が生じたため、早急に事務を行い、補欠選挙を実施する経費を計上するため専決処分を行いました。
九十七万円を増額し、予算総額を二七億四、一七二万円としました。

補正予算

水道事業会計補正予算(第一号)

四一六万円を増額し、水道事業費用総額を二億八、三七九万円としました。
主なものとして、南房総広域水道事業団からの受水費における不足分等を補正しました。

町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

五、〇〇一万円を増額し、予算総額を九億八、三九二万円としました。

これは、国民健康保険法の改正により、県国民健康保険団体連合会から交付される高額共同事業に、保険財政共同安定化事業が新たに増設されるための補正や、老人保健拠出金や介護納付金額の確定に伴う補正等を行いました。

町介護保険特別会計補正予算(第一号)

五五五万円を増額し、予算総額を五億三、三三二万円としました。

これは、平成十七年度介護給付費の確定に伴う、国や県への負担金の返還及び支払基金や町負担金の追加交付等の補正を行いました。

一般会計補正予算(第二号)

一、〇二七万円を減額し、予算総額を二七億三、一四四万円としました。

平成 17 年度一般会計決算

どう使われた
みんなのお金

歳入 39億 724万円 (8.4%)

歳出 37億 2,848万円 (9.6%)

※ () 内は前年度との増減率です。

■歳入の主な内容

(単位： 万円 %)

科目	年度	平成 17 年度		平成 16 年度		増 減	
		決算額 ①	構成比	決算額 ②	構成比	①-② ③	③/②×100
自主財源	町 税	11億 1,834	28.6	9億 7,124	26.9	1億 4,710	15.1
	分担金及び負担金	2億 8,976	7.4	2億 5,071	7.0	3,905	15.6
	繰越金	2億 521	5.3	1億 3,053	3.6	7,468	57.2
	その他	2億 4,351	6.2	2億 7,225	7.6	▲ 2,874	▲ 10.6
	小 計	18億 5,682	47.5	16億 2,473	45.1	2億 3,209	14.3
依存財源	地方譲与税	8,170	2.1	6,783	1.9	1,387	20.4
	地方交付税	7億 2,983	18.7	7億 4,943	20.8	▲ 1,960	▲ 2.6
	国庫支出金	2億 3,854	6.1	1億 8,869	5.2	4,985	26.4
	県支出金	1億 6,374	4.2	1億 4,221	4.0	2,153	15.1
	町 債	6億 8,390	17.5	6億 7,450	18.7	940	1.4
	その他	1億 5,271	3.9	1億 5,821	4.3	▲ 550	▲ 3.5
小 計	20億 5,042	52.5	19億 8,087	54.9	6,955	3.5	
合 計		39億 724	100.0	36億 560	100.0	3億 164	8.4

昨年度と同様に地方交付税や各種負担金の多くは減額となりましたが、町民税の伸びや特別土地保有税滞納繰越分の納付等により、町税が大幅に増加しました。また、御宿中学校校舎建設事業等による国庫支出金、分担金及び負担金などにより大幅な増額となっており、昨年度より3億164万円増の39億724万円となりました。

■歳出の主な内容

(単位： 万円 %)

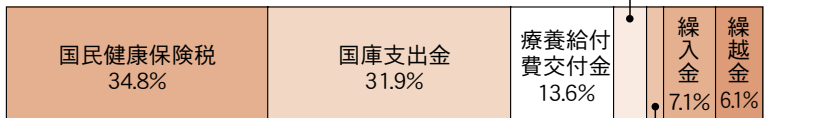
科目	年度	平成 17 年度		平成 16 年度		増 減	
		決算額 ①	構成比	決算額 ②	構成比	①-② ③	③/②×100
議 会 費		7,437	2.0	7,740	2.3	▲ 303	▲ 3.9
総 務 費		5億 5,362	14.8	6億 474	17.8	▲ 5,112	▲ 8.5
民 生 費		5億 8,658	15.7	5億 6,096	16.5	2,562	4.6
衛 生 費		5億 3,596	14.4	4億 9,086	14.4	4,510	9.2
農林水産業費		1億 1,653	3.1	7,432	2.2	4,221	56.8
商 工 費		1億 2,488	3.4	1億 1,081	3.2	1,407	12.7
土 木 費		2億 5,619	6.9	1億 5,319	4.5	1億 300	67.2
消 防 費		1億 8,705	5.0	1億 8,923	5.6	▲ 218	▲ 1.2
教 育 費		9億 134	24.2	6億 3,795	18.7	2億 6,339	41.3
災 害 復 旧 費		2,153	0.6	2,259	0.7	▲ 106	▲ 4.7
公 債 費		3億 7,043	9.9	4億 7,835	14.1	▲ 1億 792	▲ 22.6
合 計		37億 2,848	100.0	34億 40	100.0	3億 2,808	9.6

特別職人件費、管理職手当、各種委員報酬の見直し等により人件費は減っているものの、昨年度からの御宿中学校校舎建設事業等や道路改良事業、清掃センターの改修事業等により昨年度より3億2,808万円の増の37億2,848万円となりました。

平成17年度特別・企業会計決算

■国民健康保険特別会計

歳入 10億 1,866万円



歳出 9億 7,730万円

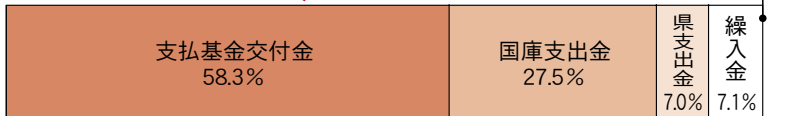


医療費や加入者の増加に伴い、前年度に比べ、歳入は4,979万円(5.1%)、歳出は7,040万円(7.8%)の増となっています。

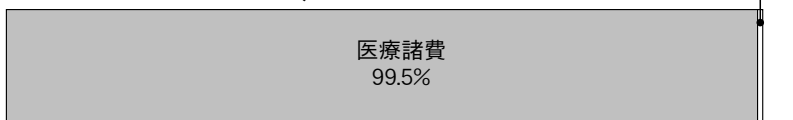
基金は2,042万円と非常に少ない額になっています。

■老人保健特別会計

歳入 11億 7,160万円



歳出 11億 6,021万円

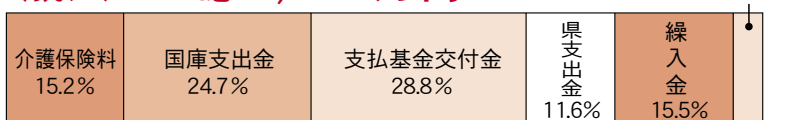


老人医療受給者は前年度と比べ89名減少しましたが、一件当たりの医療費が年々増加する傾向であり、前年度に比べ、歳入は3,217万円(2.8%)、歳出は2,196万円(1.9%)の増となっています。

なお、医療費に対する町の負担割合は増加しており、町医療費負担5%だったものが前期7%、後期7.66%に引上げられました。

■介護保険特別会計

歳入 5億 1,615万円



歳出 5億 98万円



総務費 3.6%

制度の大規模改革が行われ、「元気な65歳」から「活動的な85歳」という目標に変更されました。

町は超高齢化が進み、比例して要介護等認定者やサービス利用者が増加しています。

前年度に比べ、歳入は1,359万円(2.7%)、歳出は1,986万円(4.1%)の増となっています。

■水道事業会計

- 収益的収入 2億 5,659万円 (水道料金や県町補助金等)
- 収益的支出 2億 9,801万円 (人件費や委託料、南房総広域水道企業団からの受水費等)
- 資本的収入 893万円 (納付金や開発負担金等)
- 資本的支出 3,887万円 (企業債の返還金等)

一般会計、特別会計、企業会計決算を賛成多数で認定しました

輝きに満ちた活力ある町づくりに向け

2名の議員が

一般質問

いすみ鉄道

基金があるうちに清算したほうがいいのではないかと
 財政負担を避けるため最善の判断をします

瀧口 義雄 議員
 企画財政課長

Q 以前は木原線という名前で大変利用価値のあったいすみ鉄道の運営には、現在町は分担金を支払ってはいませんが、現状の従業員数、経営内容、乗客の推移、基金の残高について説明願います。

A いすみ鉄道の輸送人員は、開業した昭和六三年は一二二万人であったものが、平成十七年には四五万人です。従業員数は二四名と臨時職員七名です。平成十七年度の経営内容は、売上は約一億一千万円で費用が約二億五、三〇〇万円で、約一億四千万円の赤字を出しています。営業計数では百円収入を上げるのに六三年は一二五円かかったものが、十七年では二三四円という数字になっています。

Q その赤字補てんを基金で補っていますが、その基金残高はいくらですか。

A 開設当初は二一億ありましたが、平成十七年度末

で八億九、五〇〇万円です。

Q いすみ鉄道の会社形態について説明願います。

A これは第三セクター方式の株式会社で、沿線夷隅郡市の全自治体と千葉県が主な株主です。

株式会社御宿町が八八株で四四〇万円を出資しており、一・六%の出資率です。



一日上下35本が運行しています

Q いすみ鉄道の委員会が設置されたようですが、どのような委員会ですか。

A 委員会の名称はいすみ鉄道再生会議で、委員は県総合企画部長、夷隅郡市内二市二町の長、学識経験者の六名で構成されています。現状を認識し、経営改善の方策を協議するとともに、いすみ鉄

道へ今後の方針を答申するための組織です。

Q 基金が底をついたら、分担金を払うのか。

A 今後の分担金等はまだまだ協議されていません。

Q 基金残高があるうちに新たな新交通システムを立ち上げて、学生等利用者の利便性を図るべきではないか。

A 町としては利用者のアンケート調査の結果を踏まえて、交通手段の確保を最優先するよう提言していきます。

Q 今後御宿町の財政負担にならない方針で、進めてもらいたいのですが。

A 再生会議は来年の夏までの方針を決定し、いすみ鉄道に答申する予定です。町としてはこれ以上の財政負担は避けるため、今後の会議の情報について議員各位と相談し、最善の判断をしたと思います。

県知事との会議内容はこういったものだったのか

石井 芳清 議員

今後の観光、福祉、そして合併について話し合いました

総務課長 企画財政課長

Q 先般七月に県合併推進審議会委員と地域との意見交換会がありました。また、九月には県知事と、二市二町の首長並びに関係職員による会議があったようですが、こういった内容でしたか。

A 九月五日に県知事と、二市二町の首長による合同の会議がありました。時間は、三十分は観光、三十分は福祉、三十分はこれから県が合併の方針を出すにあたって、各首長の意見を聞くための話し合いであり、御宿町は、二市二町という意見を出しました。

Q 町づくり事業として県職員が町に来て、商工会とヒアリングを行っているようですが、その内容について伺います。

A 県総合企画部が、千葉県の地域資源を活かした町づくり関連施策として、地域主体の房総での田舎暮らしを募集しており、優秀な企画には、県と共同で事業化に向けた調査研究をするものです。ヒアリングでは、当町の企画が採択されるよう、調査費で約五〇〇万円を上限とする

県補助が可能となります。商工会だけでなく、町行政も積極的に参画します。

Q 後期計画の進捗状況はどうなりますか。また、最終的なものはいつできるのですか。それと予算の関連はどうなりますか。

A 後期計画の策定については、策定懇談会を十月に二回、十一月に一回開催し、最終的には二月に確定させる予定ですが、後期計画の骨格は十二月中に提案するので、そこで予算に反映させていきます。

Q 提案された後期計画を変更せざるを得なくなったら、予算を組み直すのですか。

A 三回目の会議で基本施策を提示しますので、そこで骨子を固めて、策定したいと考えています。

平成18年度議会常任委員会研修視察

現在国保国吉病院の建設事業が進められているなか、当議会において先進地を視察し、今後の病院経営について参考にするため、長野県波田町にある波田総合病院を視察しました。

この病院は、昭和60年に総合病院となり、「患者さん中心の、満足と安心の医療・権利と安全に配慮した医療の実践」を理念として、病院見学会の実施や病院機能評価の導入など積極的な地域医療を行っています。

概要としては、一般病棟205床、医師24名、研修医2名、職員数217名、病床利用率88.0%で、一日平均患者数は入院189.2人、外来は447.5人ということです。

これからの病院は、医師のみではなく、看護師の不足が心配されるとともに、自治体病院経営についても非常に難しい時代が到来しており、当議会においても積極的に情報を収集し、住民に根ざした病院経営が行われるよう努力してまいります。

- 日程 10月25日～26日
- 参加議員数 13名



病院の事業管理者をはじめ総看護師長までお越しいただき、現場の声を聞くことができました。

※視察は自己負担で行いました。

請願・意見書

出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願書

請願者 千葉県弁護士会

紹介議員 川城 達也

採 択

出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書

提出者 川城 達也 賛成者 貝塚 嘉軟、松崎 啓二、新井 明、瀧口 義雄

平成14年に20万件を突破した個人の自己破産申立件数は、その後も依然として高水準であり、多重債務の問題はまだまだ深刻な社会問題である状況が続く中、御宿町議会が、国会及び政府に対し、「出資の受入、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」を改正することを強く要請するため意見書を提出するよう求めます。

可
決

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、金融担当大臣へ意見書の送付を行いました。

「農地・水・環境保全向上対策」に関する請願について

請願者 いすみ農業協同組合

紹介議員 新井 明

地域の住民に「農地・水・環境保全向上対策」の周知をはかるとともに、希望するすべての地域が実施できる予算を確保するよう御宿町議会に請願書を提出します。

採 択

皆さん傍聴に来て下さい

次 回 定 例 会

予
定

12月14日(木)

手続き簡単。

3階で住所と名前を書くだけです。

ふれあい農業で稲刈りを体験しました

編 集 後 記

朝晩の冷え込みも深まり、「秋の日は釣瓶落とし」と言われるように、日も短くなつてまいりました。

さて、役場内においては、十二年を一区切りとする基本構想の内、後期基本計画（六年）の策定に取り組んでいます。これは、町の方向性を決める重要な作業であり、議会はもちろんのこと、住民の皆さんが意見を述べる機会がありますので、積極的に参加いただきたいと思います。

また、三ヶ年実施計画も同時に策定されますが、住民に根ざした施策を展開して欲しいと思います。

編集委員長

瀧口 義雄